

## 第2章 見えてきた課題

---

### 1 児童・生徒の結果からわかったこと

#### (1) 単純集計から分析した結果

##### ① 食事について

夕食では482人(12.1%)、休日の昼食では984人(24.7%)の子どもが、大人がいない環境で食事を摂っている。一方で、困っていることとして「ひとりで食べることがある」「子どもだけで食べることがある」との回答がそれぞれ2.5%あり、大人がいない環境で食事を摂ることはストレスになる子もいる。

##### ② 居場所について

居場所について、放課後、夏休み等の長期休暇、土日を比べると、「家で子どもだけで過ごす」「家でひとりで過ごす」との回答は放課後で割合が高い。一方で、困っていることとして「家でひとりで過ごすことがある」が170人(4.3%)、「家で子どもだけで過ごすことがある」が118人(3.0%)の回答があることから、大人がいない家(自宅)で過ごすことはストレスになる子もいる。

##### ③ 自己肯定感について

家族のことや自分のことをどう思っているかの設問に対して概ね肯定的な回答が多数を占める中、否定的な回答をしている子もいる。特に「自分のことが好きか」という問いに対し、「あてはまらない」が637人(16.0%)で予想以上に割合が高い。

##### ④ 学習面について

1,418人(35.6%)が学習塾に通っているが、一方で、「学校の勉強や宿題がわからないとき誰に教えてもらうか」では「教えてもらう人がいない」が163人(4.1%)、「宿題以外の勉強をしているか」では、「ほとんど勉強しない」が522人(13.1%)の回答がある。

## (2) クロス集計から分析した結果

### ① 家族との関わり・自己分析関係（自己肯定感・将来への意欲）

#### (ア) 自分のことが好きではない子どもの特徴

- ・将来が楽しみではない。
- ・家でひとりで過ごす割合が高い。
- ・家族のことで困っている。

#### (イ) 将来が楽しみではない子どもの特徴

- ・家族で食事をとらない割合が高い。
- ・親と話をすることが少ない。
- ・勉強がわからない。
- ・兄弟姉妹の数による差はない。

学年があがるにつれて、  
自己分析が否定的になる。  
(特に中学2年生)

### ② 学習・進学面

(ア) 中学生になると、学校の勉強の理解度により差がつくようになる。

(イ) 全体として学習意欲は高い一方で、家計や送迎など親の事情で学習塾等の  
習い事に通えない子がいる。

## 2 保護者の結果からわかったこと

### (1) 単純集計から分析した結果

#### ① 家族構成について

婚姻していると答えた方が大多数であるが、580人(12.8%)がひとり親家庭である。

#### ② 父母の就労状況や所得について

父は3,362人(73.8%)が正規雇用であるのに対し、母は998人(21.9%)である。また、父母の所得においては、父は2,673人(58.7%)が「300万円以上」と回答する中、母の同回答は422人(9.3%)だった。以上の結果から、同じひとり親家庭でも、父子家庭よりも母子家庭のほうが経済的に困窮しているのではないかと考えられる。

#### ③ 家計について

家計の困窮状況の調査項目では、「あてはまるものはない」が大多数を占める中、「経済的な理由で支払いが遅れたものがあるか」では、「住民税・自動車税などの税金」が304人(6.7%)で、次いで「生活費(水道代、電気代、ガス代)」が222人(4.9%)である。「生活に必要なものが買えないことがあったか」では、「家電製品(洗濯機・冷蔵庫・電話など一般的に普及しているもの)」が254人(5.6%)で、次いで「子どもの衣料品(制服・体操着など指定のもの、子どもの体格や季節に合ったもの)」が225人(4.9%)である。

#### ④ 悩んでいることについて

お子さんのことで現在悩んでいることは、「しつけや教育に、自信がない」が1,203人(26.4%)、次いで「勉強をしない」が711人(15.6%)、「一緒に過ごす時間が足りない」が653人(14.3%)である。

#### ⑤ 希望する支援について

今後あるとよいと思う支援は、「生活や就学のための経済的援助」が1,554人(34.1%)と最も高く、次いで「子どもを預かる場やサービスの提供」が1,399人(30.7%)、「地域における子どもの居場所の提供」が1,328人(29.1%)である。

### (2) クロス集計から分析した結果

#### ① 親子の関わり

(ア) ひとり親は仕事が忙しく子と一緒に過ごす時間がとれていない。

(イ) 親の悩みは、子どもの成長とともに変化する。

未就学児・小学生…「しつけ・教育」「一緒に過ごす時間が足りない」  
「基本的な生活習慣が身に付いていない」が多い悩み  
中学生…「学力が低い」「勉強をしない」等、学年が上がり、  
学習・進学への悩みが高まる。

#### ② 必要とする支援

(ア) 特にひとり親の厳しい就労・経済状況が浮き彫りとなった。

(イ) 必要な支援は、子どもの成長とともに変化する。

未就学児…子を預かるサービス(子どもをみてくれるところ)  
小学生…地域における子どもの居場所(学校以外に子が自分で行くところ)  
中学生…生活や就学のための経済的援助(就学及び進学費用)

#### ③ 学歴と所得の関係

(ア) 父母ともに、最終学歴が中学校卒業と高等学校卒業では所得に差が出る。

(イ) 安定した収入を得るためには、高等学校を卒業しているかがひとつの目安となる。

### 3 クロス集計分析項目（詳細については 第4章資料編 参照）

#### （1）児童・生徒

No.	A（縦軸）	B（横軸）	相関関係
1	学年	自分のことが好き	有
2		自分の将来が楽しみだ	有
3		学校の勉強がどのくらいわかるか	有
4	自分の将来が楽しみだ	誰と一緒に夕食を食べることが多いか	有
5		家族は、いろいろなことを話してくれる、話を聞いてくれる	有
6		自分のことが好きだ	有
7		学校の勉強がどのくらいわかるか	有
8		兄弟の数	無
9	自分のことが好きだ	放課後をどのように過ごすことが多いか	有
10		家族のことで、困っていることや嫌なこと	有
11	どのような習いごとをしているか	習いごとのうち、「やりたいけれど、やっていないもの」があるか	有
12	成績は学年の中でどのくらいか	今の成績について、どう思っているか	有

#### （2）保護者

No.	A（縦軸）	B（横軸）	相関関係
1	父母の関係	一緒に過ごす時間が取れていると思うか	有
2		学習塾について	有
3		支払いが遅れたものがあるか	有
4		父の就労状況	有
5		母の就労状況	有
6	子の年代	放課後をどのように過ごすことが多いか	有
7		学習について	有
8		現在悩んでいることや困っていること	有
9		現在または今後あるとよいと思う支援	有
10	父の最終学歴	父の所得額	有
11	母の最終学歴	母の所得額	有
12	父の所得額	必要なものが買えないことがあったか	有
13	母の所得額	必要なものが買えないことがあったか	有